

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	食育推進事業		所管課 【2】	保健予防課
			評価者(担当者)	吉田 勝代
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑤いきいきと暮らせる福祉のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)保健医療体制の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)健康づくりの推進		
<input type="checkbox"/> 重点施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 食育基本法、市食育推進連携会議要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 第2次市食育推進計画、熊本県食育推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 2 細目 8			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	あらゆる年代層で朝食欠食や不規則な食事時間、偏った食事内容等、食生活の乱れにより生活習慣病が増加している。また食の外部化が進み、家族と食卓を囲む機会が減少し、孤食等も増加している。豊かな食生活を送ることは、生涯を通じての生活の質に大きく影響するため食育の推進が重要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、食育関係者、関係団体
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	子どもから大人まで市民一人ひとりが健全な食生活を送るため、食に関する知識や理解を高めながら食べる力、生きる力を身につけ、実践できるよう関係機関等と連携を図り、食育の推進ができる。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H20 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	玉名市食育推進連携会議は、「第2次玉名市食育推進計画」に基づき、総合的な食育の推進を図る。下部組織である作業部会は、市民参加による食育フェア実行委員会を組織し、食育啓発を目的に「たまな食育フェア」を開催している。総合的な食育の推進を図るうえで、これまで市民の食の実態把握ができていなかったため平成26年度に市民食育調査を実施した。
事務事業を構成する細事業 【15】	
① 食育推進連携会議・作業部会業務	
② たまな食育フェア開催業務	
③ 市民食育調査業務	
④	
⑤	

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		2,109	2,170	3,880	2,108
	【16】 小計		2,109	2,170	3,880	2,108	0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	372	33	0	
職人 員 の 費	職員人工数		1.05	1.51	1.14	1.14	
	職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424	
	【17】 小計		5,891	8,190	6,183	6,183	
合計			8,000	10,360	10,063	8,291	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 食育推進連携会議・作業部会業務	会議を開催し、計画の進行管理や事業の検討を行う。	会議開催回数	回	4	9	8	8
② たまな食育フェア開催業務	たまな食育フェア等を開催し「食」の重要性を伝える。	たまな食育フェア開催回数	回	1	1	1	1
③ 市民食育調査業務	全世代を対象に郵送等によるアンケート調査を実施	対象者数	人			2,736	
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 食育講演会参加者数	たまな食育フェア時の食育講演会の参加者数	人	180	500	250	300
			201	319	300	
2 計画目標達成項目	28項目中達成した項目の数	項目	28	28	28	28
			9	7	9	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	食育は幅広い分野にわたり、教育関係者、生産者、関係団体、行政等が連携協力し、計画に基づき総合的な食育推進を図る必要があるため。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	玉名市の現状を把握出来ていない状態での第2次玉名市食育推進計画策定となり、目標値を理想的な値に設定したため
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	元気野菜づくりの主な作業をこれまでの協力団体から協働組合などに広げ委託し、野菜づくりを通して食の大切さを啓発していく。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	全世代への食育の啓発を食育フェア、講演会で行っているが、野菜づくりを通して、幼児を持つ保護者や若い世代にもっと食に対して興味を持ってもらうために、野菜づくりと野菜を使った料理教室など親子で体験できる教室開催を検討する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	平成26年度のフェア開催地は市中心ではなく岱明町で開催したが、住民の関心が高く参加者も多かった。元気野菜畑とも近く、利便性もあり平成27年度も同様に岱明町での開催とする。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	本市の特定健診の結果、生活習慣病、具体的には糖尿病患者数の割合が県下14市の中で上位に位置しており、病気発症の原因は、食の偏りが大きな要因と考えられ、これから食育が保健予防の面で大変重要な位置づけとなることから、この事業分野は早急に強化すべきである。	評価責任者 中野幸子
------------------	---	---------------